

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：松谷 春敏

事業名	JR片町線・東西線連続立体交差事業 <small>かたまちせん とうざいせんれんぞくりつたいこうさしぎょう</small>		事業区分	街路	事業主体	大阪市
起終点	自：大阪府大阪市都島区片町2丁目 <small>おおさか府おおさかしみやこじまくかたまち ちょうめ</small> 至：大阪府大阪市城東区新喜多2丁目 <small>おおさか府おおさかしじょうとうくしんきた ちょうめ</small>		延長	1.3km		
事業概要	本事業箇所は、大阪都心東部の玄関口である京橋駅を中心とした地域である。しかし、JR片町線・東西線が地域を南北に分断しており、地域の発展を阻害している。鉄道を地下化することにより、都市計画道路の整備を促進させ、踏切をなくし、交通の円滑化を図ると共に、地域分断を解消する。また、併せて土地区画整理事業を実施し、まちづくりを行う。					
未着手	未都計					
全体事業費	約600億円	事業進捗率	0%	供用済延長	0km	
計画交通量	--- 台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 480/481億円 (事業費：480/481億円) 維持管理費： / 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 733/733億円 (走行時間短縮便益：704/704億円) (走行費用減少便益：27/27億円) (交通事故減少便益：2/2億円)	基準年 平成16年		
事業の効果等	円滑なモビリティの確保（踏切3箇所の除却）、地域分断の解消、都市再生 等					
関係する地方公共団体等の意見	特になし					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	近年の財政状況が厳しい中、大規模な本事業の予算確保が難しくなっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	都市計画決定に向け、関係機関と調整中。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	地下化のルート選定及び鉄道側の将来需要予測検討などに時間を要しているが、引き続き関係先との協議・調整をすすめる。着手については、財政状況の厳しい中、財源の確保が図れた段階で着手する。					
施設の構造や工法の変更等	特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。